

経営比較分析表（令和2年度決算）

千葉県柏市 柏病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|--------------|-----------------------|---------|---------------|------------|
| 当然財務 | 病院事業 | 一般病院 | 200床以上～300床未満 | 非設置 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 指定管理者(利用料金制) | 16 | - | ド訓 | 救臨輪 |
| 人口(人) | 建物面積(m ²) | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院 | 看護配置 |
| 428,587 | 12,250 | 非該当 | 非該当 | 10:1 |

| 許可病床(一般) | 許可病床(療養) | 許可病床(結核) |
|----------|-----------|-------------|
| 200 | - | - |
| 許可病床(精神) | 許可病床(感染症) | 許可病床(合計) |
| - | - | 200 |
| 稼働病床(一般) | 稼働病床(療養) | 稼働病床(一般+療養) |
| 200 | - | 200 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値(当該値) |
| — | 類似病院平均値(平均値) |
| 【】 | 令和2年度全国平均 |

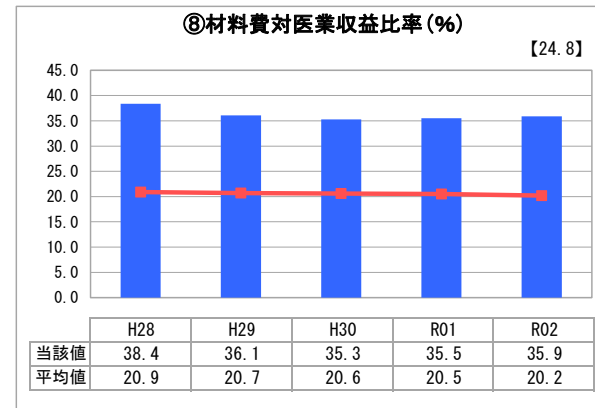
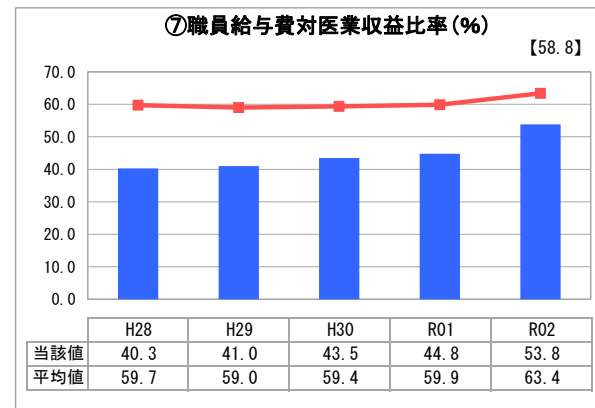
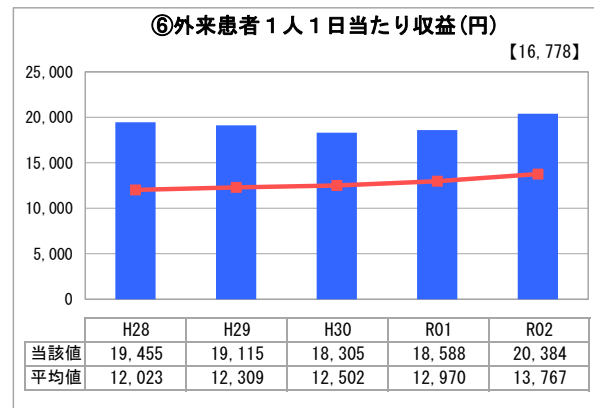
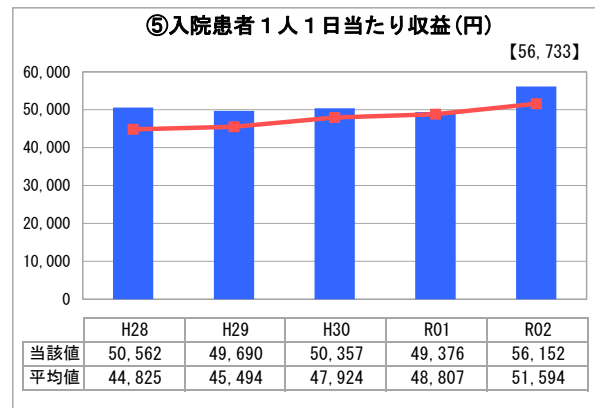
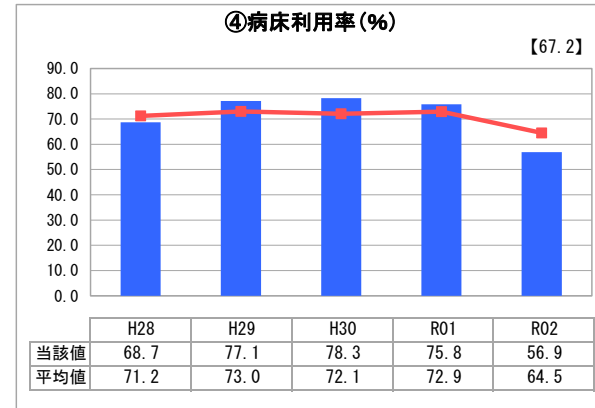
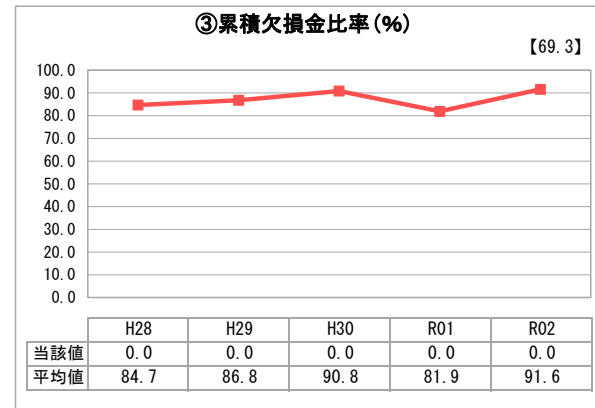
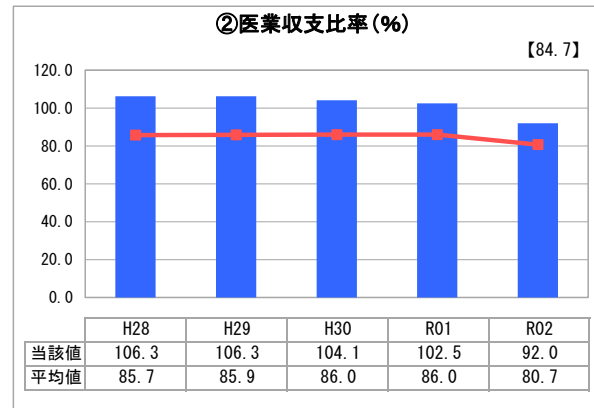
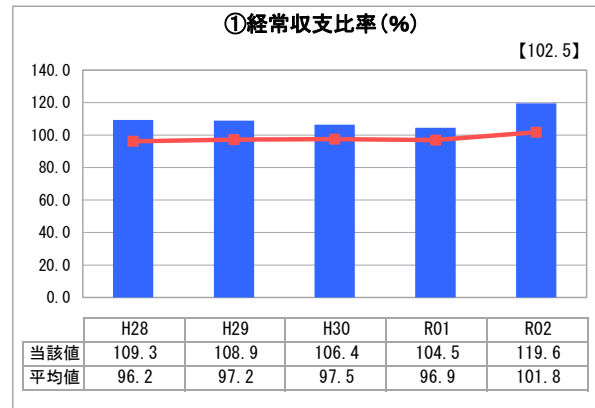
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

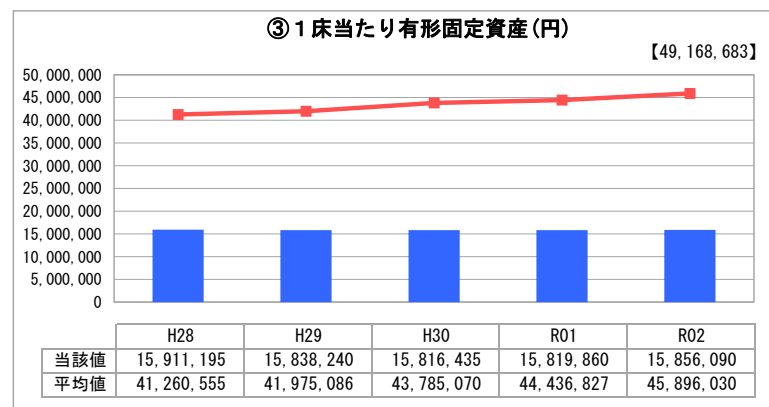
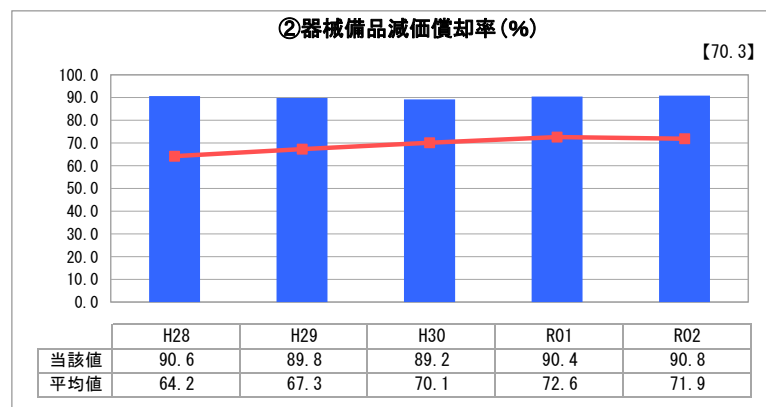
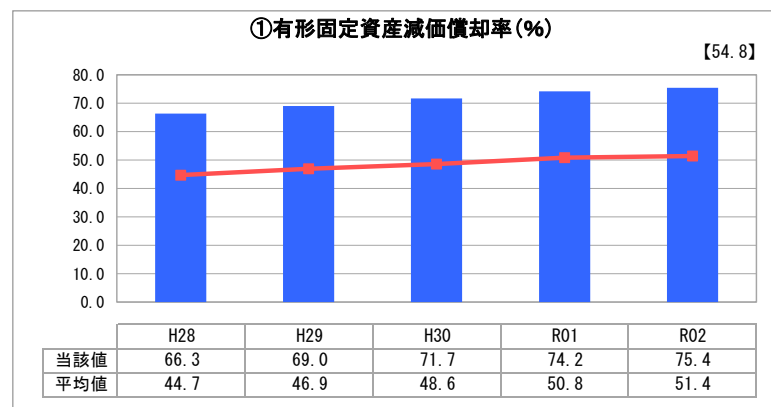
公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| - | - | 平成18 |
| 年度 | 年度 | 年度 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

急性期医療を担う地域の中核病院として、診療科目16科、病床数200床の規模で、指定管理者制度(利用料金制)のもと運営を行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に注力し、感染者の入院受け入れや、帰国者・接触者外来を設置して、濃厚接触者の検体採取、有症状時の外来診療等を実施して、地域医療の充実に取り組みました。また、前年度に引き続き、『柏市立柏病院新改革プラン』で定めた数値目標の達成に取り組み、地域医療連携の推進や、小児救急医療体制等の充実を図りました。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、感染した患者の入院診療の実施に伴い一般入院の制限等を実施した結果、病床利用率は56.9%と大きく減少しました。また、医業収支比率が92.0%と昨年に比べ10.5ポイント減少し、感染症による減収が大きく影響しました。費用面においては、職員給与費が年々増加傾向にありますが、過去5年間、累積欠損金の発生は無く、経常収支比率は感染症対応に関する補助金収入などにより、100%以上を維持しています。

2. 老朽化の状況について

建物及び設備は、国からの有償下りを受けた旧国立病院時代のものを使用しており、築40年を経過しているため、老朽化が著しい状況です。これまで、レイアウト変更や改修工事を行っています。大型化が進む現在の医療機器の設置が難しく、医療環境への対応が困難な状況です。その結果、固定資産全体の償却率は経過年数に伴い増加し、器械備品の多くは法定耐用年数を超過しています。こうした建物・設備の経年状況下で、今後も病院としての機能・役割を果たすためには、大規模修繕では対応しきれないため、建替えの必要があるとされています。

全体総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、一部の病床を休床し、感染者の入院診療を行った結果、医業収益が減少し、医業収支比率は100%を下回りましたが、新型コロナウイルス感染症に関する補助金収入により、経常収支比率は100%以上を確保することができました。今後も感染症対応が求められますが、病院を安定的に継続して運営するためには、経営力を強化し、安定した経営基盤を確立する必要があります。引き続き、救急患者の積極的受け入れや、地域の医療機関との連携強化による紹介・逆紹介の推進、病床利用率の向上、費用抑制等に取組むなど、より一層の経営改善に努めます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。